

## 病気やケガで障害者 になったら障害基礎 年金を

障害基礎年金は次の3つの条件がそろえば支給されます。

- ① 障害の原因となった病気やけがの初診日が、国民年金の被保険者であるとき、又は国民年金の被保険者であった方が日本国内に住所を有し、60歳以上65歳未満であるとき。

※初診日…障害の原因となった病気やけがについて、初めて医師の診療を受けた日

② 障害の程度が、障害認定日において国民年金法施行令別表（1級・2級）に定める程度であること。

障害者手帳が2級だから、障害年金も2級になるということではなく、診断書等提出されてから決定されます。

※障害認定日…障害の程度を定める日。障害の原因となった傷病についての初診

日から起算して1年6か月を経過した日、又は1年6か月以内に症状が固定した場合はその日。

③ 初診日の属する月の前々月までに被保険者期間があるときは、その被保険者期間のうち保険料納付済期間と保険料免除期間（一部納付した期間）を合算した期間が3分の2以上であること。

（初診日が平成28年3月31日以前の場合は、初診日の属する月の前々月までの1年間に保険料の滞納がなければよいことになっています）

### ◆申請手順

障害年金の申請を希望される方は、国保年金課までご相談ください。その際に、次のことをお尋ねします。

- ① どのような障害なのか。
- ② 病気の発症した時期、初診日。通院の状況等。

身体障害者手帳・療育手帳をお持ちの方は、ご持参ください。

※初診日が厚生年金加入中の方は年金事務所、共済年金加入中の方は共済組合での請求となります。

### 【問合せ】 国保年金課

国保年金係（小城庁舎）  
担当 嘉村・古川  
☎73-8802  
佐賀年金事務所  
☎31-4191

## 小城市中小企業小口 資金融資制度

中小企業のための融資制度です。

### ◆金利 年利2.2%

（金利変動有・保証料は小城市全額負担）

### ◆融資限度額

1,000万円以内

### ◆返済期間

- ・運転資金7年以内
- ・設備資金10年以内
- ・運転資金及び設備資金を併用した場合、設備資金の貸

付額が全体の2分の1以上のときは10年以上

### ◆利用条件

- ・市内に事業所を有する法人及び個人又は市内に住所を有する方で、同一の事業を1年以上引き続き経営し、運転資金及び設備資金を必要とする方
- ・市税を完納している方
- ・担保 原則不要

### ◆保証人

- ・個人事業者 原則不要
- ・法人の場合 原則法人代表者のみ

### 【問合せ】

- ・小城商工会議所 ☎73-4111
- ・牛津声刈商工会 ☎66-0222
- ・小城市役所 商工観光課（小城庁舎南別館） ☎73-8813
- 担当 山口・原口

## 有料広告募集中

市報を使って、あなたのお店をPRしてみませんか？

- 掲載料 ・縦4.5cm×横8.5cm 10,000円
- ・縦4.5cm×横17.5cm 20,000円

申込方法など詳細はお問合せください。

【問合せ】総務課（牛津庁舎）担当：空閑・森  
☎63-8818 E-mail: kouhou@city.ogi.lg.jp

## ② 特に次にあてはまる方は検査をしてみましょう！

### ◆糖尿病のハイリスク

- ▶糖尿病にかかった血縁者がいる
- ▶太っている
- ▶4 kg以上の子どもを出産した
- ▶尿に糖が出たことがある
- ▶自覚症状がある

甘いものを欲する、のどがよく乾き水分を多く飲む、尿量が多い、尿に泡がたつ、やせてきた、体がだるい、目が見えにくい、胃腸の調子が悪い、足がつる、めまい、むくみ、冷える、ほてる、異常に汗をかく、手足のしびれ、足の感覚の違和感…

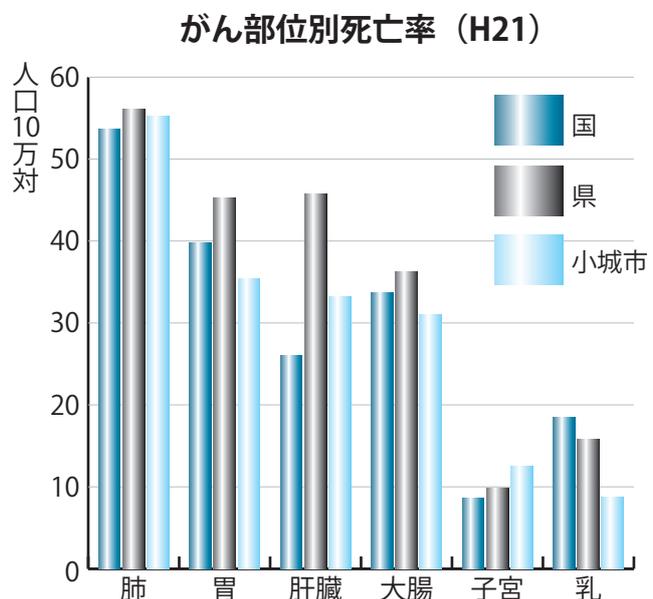
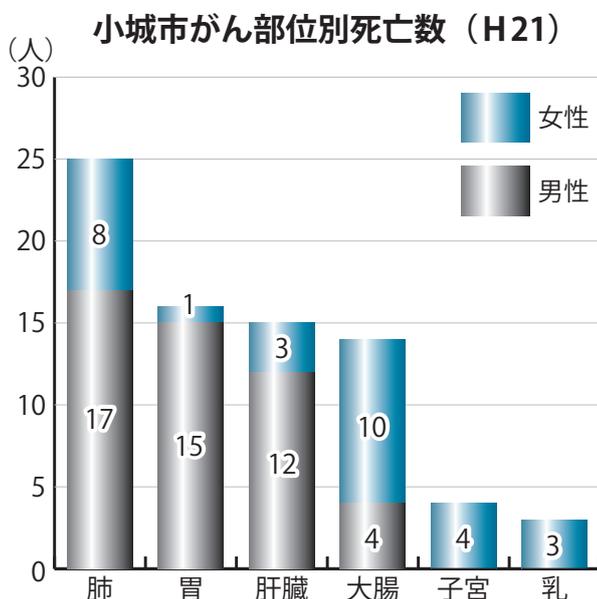
### ◆慢性腎臓病のハイリスク

- ▶腎臓病にかかった血縁者がいる
- ▶過去に蛋白尿がでたことがある  
(学校健診・妊婦健診など)
- ▶腎臓病や尿路結石、膀胱炎など尿路系の病気ににかかったことがある
- ▶高血圧、糖尿病、高尿酸血症、高脂血症などの動脈硬化疾患や喫煙歴がある。
- ▶自覚症状がある

むくみ、疲れやすい、夜間尿が増える、頭痛、高血圧、めまい、食欲不振、吐き気、下痢、便秘、足がつる、動悸息切れ、手足のしびれ

## ③ がんは早く見つかるかどうか大きな分かれ道！

～男性では2人に1人、女性では3人に1人が一生のうちにがんと診断される～



男性は、肺、胃、肝臓がんが多く、女性は大腸がんが多くなっています。子宮がんの死亡率は、全国・県平均を超える高さです。39歳以下の女性では、一番多いのが子宮がん、次いで乳がんとなっています。がんは早い段階で発見できるほど生存率は高くなり、特に胃、大腸、乳、前立腺がんは早期に発見できれば5年生存率は95%を超えます。

家族そろって毎年検診を受け、明るい生活が送れるようにしましょう。

※5年生存率とは、がんと診断されてから5年経過後に生存している人の割合をいいます。

【問合せ】健康増進課 保健予防係 (三日月庁舎) 担当 松尾・吉次 ☎73-8822